|  |
| --- |
| 演題タイトル  ○発表者1)，共同　研究者１2)，共同　研究者２1,2)  1) 所属１，2) 所属２… |

※ＭＳゴシック１２ポイント・１行・全角換算４０文字までに収めてください。

※発表者の記載は姓と名の間に全角1つ分のスペースを入れてください。

※「発表者・所属」の記載は合わせて３行以内に収めてください。４行以上になる場合は、超過分の行数を要旨本文の行数から削減して調整してください。

|  |
| --- |
| 本文  【目的】  【方法】  【結果】  【考察】  ＜文字数＞　●●●文字 |

※ＭＳゴシック１１ポイント・総文字数は５４６文字以内に収めてください。

（全角換算４２文字×１３行）

※　次のページに要旨作成上の注意事項と要旨作成例がありますご参照ください。

提出時には、上記の※以下から次ページまで (青文字部分) は削除してください。

要 旨 作 成 上 の 注 意 事 項

・図表は使用できません。

・入力する文字は、指定のフォントとサイズを使用してください。

・所属の略号は以下の例にならってください。

　○○薬科大・薬

　○○大院・薬

　○○病院・薬剤部

　○○薬局

・データのファイル名に、筆頭演者の氏名を付して保存して送付してください。

要 旨 作 成 例

|  |
| --- |
| ＣＹＰ２Ｄ６遺伝的変異型に対する飲食物成分の阻害効果の検討  ○慶應　太郎1)，東大　二郎2)，病院　三郎1,3)  1) 慶應大・薬，2) 東大院・薬，3) 慶應大病院・薬剤部 |

|  |
| --- |
| 【目的】シトクロムP450 (CYP) 2D6 は多型性に富み、CYP2D6 阻害剤の阻害強度も遺伝的バリアント間で異なることが報告されている。我々はこれまでに、○○○○○○○○○○○○を報告した。そこで本研究においては、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を目的とした。  【方法】CYP2D6 各種遺伝的バリアント発現膜は、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○調製した。○○○○○○○○○○○○は○○○○○○により測定した。○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  【結果】○○果汁に含まれる○○○○○○は濃度依存的にCYP2D6各種遺伝的バリアントの○○○○○○代謝活性を阻害した。その阻害強度は○○○○○○○○○○○○○○○○○○  【考察】○○果汁は、日常的な摂取量においても○○○○○○。○○○○○○による○○○○○○については十分な注意が必要と考えられた。一方、○○○○の阻害作用は遺伝的バリアント間で著しく異なっていたことから、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○と考えられた。  ＜文字数＞　●●●文字 |

提 出 先 　<https://www.dropbox.com/request/2T6hIoI8ILakKOwxahS7>

2023年5月15日（月）までに上記ドロップボックスへご提出ください。

問い合わせ先（事務局）　reg@jsphcs.jp